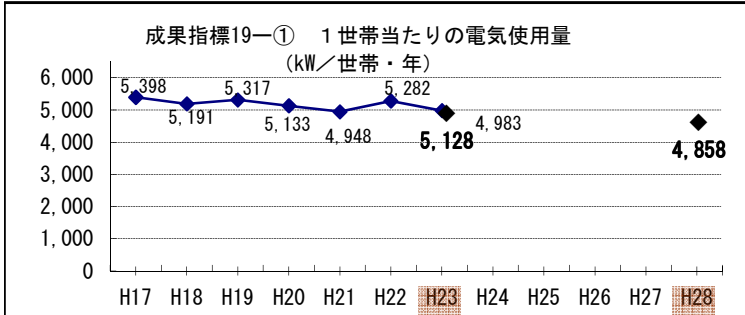
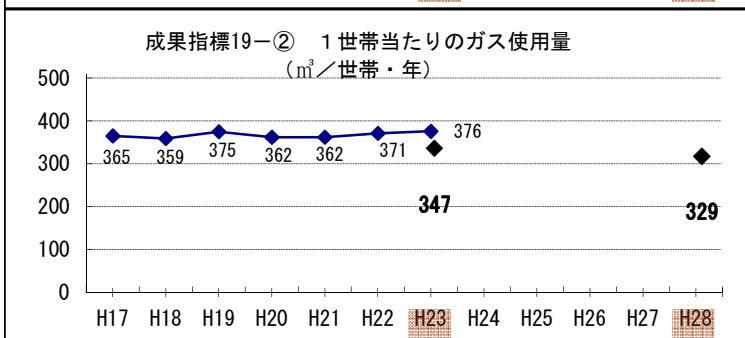


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム設置補助

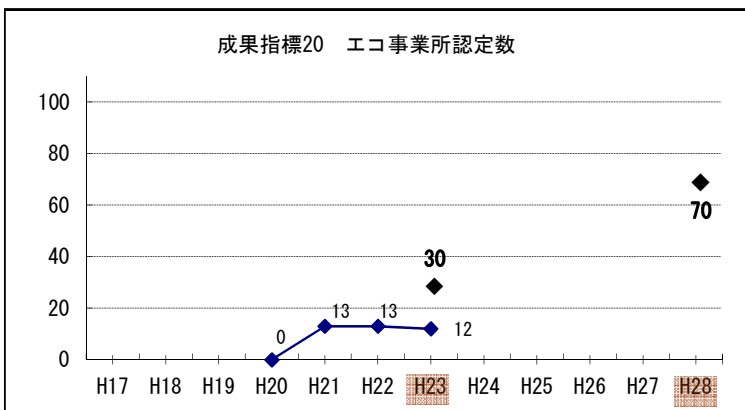


計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

ガス使用量は目標値に未達であったが、電気使用量は、22年度より減少し計画策定時に目標に掲げた23年度の目標値を達成した。しかし、この要因としては東日本大震災による節電の影響が大きく、このまま28年度の目標を達成できるかは不透明である。



主な事業

ペットボトル店頭回収

計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

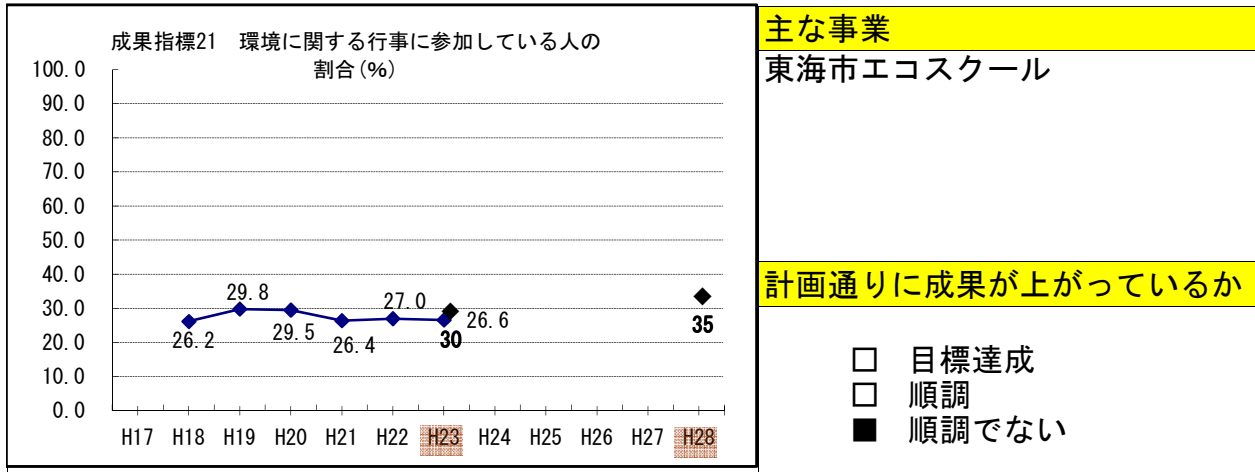
「エコ事業所認定数」は現時点では、ペットボトル店頭回収店舗としたが、23年度は1店舗減少し、12店舗となり、成果指標に対して順調ではない。現時点では、エコ事業所認定制度がないため、数値の捕捉が困難なことから、後期計画からは「エコショッピング協力店舗数」と統合し、総合的にエコショッピング協力店舗数を把握に努める。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

エネルギー消費は景気や気温に影響することが大きい。これらについては、省エネルギーや太陽光発電システムの設置の促進を行なう。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



成果指標の分析
 22年度と比較してもほぼ横ばいの推移となっているため、成果としては順調ではない。行事の内容としては、地域の清掃が一番多くなっている。

成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針
 23年度と同様に、東海市エコスクールで多様な講座を提供していく。24年度は公園管理事務所が企画する環境学習講座もエコスクールとして開催することによりエコスクールの参加者数、認知度を上げていく。
 エコスクールの運営も今まで参加したことがない人が参加できるようなイベントや興味がある人には深く学んでもらえる講座など、めりはりをつけた運営を検討していく。